

地域包括支援センター はなみずきだより

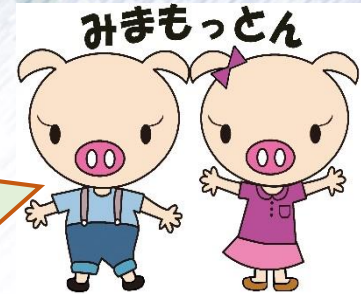
令和4年度
第2号

地域包括支援センター にお気軽にご相談下さい。

地域包括支援センターは調布市から委託を受けて設置されています。

- ・自分自身の生活や健康のことで困ったことや心配なこと。
- ・介護についての悩みや気になること。
- ・近所の高齢者に関する心配事 等

困ったことがありましたら、何でもご相談してください。



調布市見守りネットワーク事業
「みまもっと」キャラクター

調布市地域包括支援センター
はなみずき
〒182-0011
調布市深大寺北町4-17-7
電話:042-441-5763
FAX:042-441-5764

地域ケア会議を行いました

テーマ「～人生会議はじめてみませんか?～」

万が一のときに備えて、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたり、あなたの信頼する人たちと話し合ったりすることを「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」といいます。今回の会議では、**もしバナゲーム**というカードを使用したゲームを行い、人生において大切な「価値観」や、自分自身の「あり方」について考えたり、感じてもらう機会となりました。



もしバナゲームを体験してみませんか?

もしものための話し合いをするきっかけとして、もしバナゲームを体験してみませんか?
興味あるグループや団体の方がおりましたら、お気軽にご連絡ください。地域に出向いてご案内いたします。

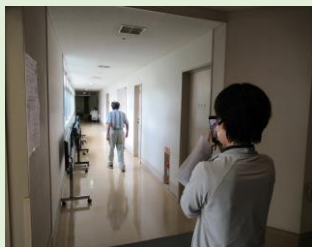


介護教室を実施しました！

テーマ：1日目「自分の歩き方を知ろう。」

2日目「ベッド・車いすから、起こす・立つ・座る」

1日目は（株）ヤマシタ調布営業所の職員に来てもらい、参加者の歩き方の測定を行ってもらったり、杖・シルバーカー・歩行器・セニアカーの体験、その他シャワーチェアや転倒予防シューズなどの案内を行っていただきました。



2日目も（株）ヤマシタ調布営業所のご協力で、介護ベッドや車椅子の体験会を実施しました。また老健花水木の介護職員によるベッドから車椅子への乗り移りやベッド上での身体の場所移動等の介護方法のレクチャーを行いました。



9月は「認知症サポート月間」です



9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、調布市では9月を「認知症サポート月間」としました。認知症の方の6割が在宅生活を送る中、地域で暮らす認知症の方にさりげない支援の手が行き届く街づくりを目指しています。「認知症サポート月間」では、認知症や認知症予防について学び、認知症当事者・家族・認知症支援者の声を聴き、認知症への理解を深め、認知症になっても暮らしやすい街づくりについて考えるきっかけづくりを行っていきます。

月間中は、「市民講座・カフェ・認知症サポーター・専門職向け講座」等を実施します。詳しくは調布市ホームページ公共施設に置いてあるチラシ・右側のQRコードからご覧ください。



認知症の方と家族へ
メールを送ろう

市民の皆様にご覧いただく為に、8月中旬に駅前や公共施設等で、チラシを配布しPRを行いました。

